令和　7　年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	環境に配慮したまちづくり
施策No.	7	施策名	水と緑の保全と活用
主管課名	生活環境課		
関係課名	農林水産課、水族博物館、埋没林博物館		

10年後の目指す姿	豊かな自然を体験できる自然環境が保全されています。

施策の現状及び課題	現　状	・植物、地質、気象や生物に関する調査研究や休耕田等を利用した地下水涵養事業をはじめとする水資源調査研究を行っています。 ・僧ヶ岳県立自然公園内の林業施設、松倉城跡県定公園、片貝県定公園等の維持管理や里山再生整備を行っています。 ・企業・団体等による環境美化・保全活動を紹介するとともに、市民の環境保全に関する意識の啓発に努めています。
	課　題	・宅地化の進行や地球温暖化による生態系への影響が懸念されるため、自然公園や自然環境保全地域等の適正な保護・管理等生態系のバランスを保つための取組が必要です。 ・市民や訪れた人々が、本市の良好な水循環や自然公園などを体感し、親しみ、学び、保全について考える機会を増やしていくことが必要です。 ・手入れ不足となっている里山が多く、野生鳥獣による農作物被害の一因になっていることから、里山再生整備、みどりの森再生等を引き続き実施していく必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・森林の保全など生態系のバランスを保つための施策を行います。 ・水と緑の保全のための啓発を行います。 ・豊かな水と緑の恵みを産業や観光に活かします。
	市　民 ・ 事業所	・「魚津の水循環」と生物多様性について学びます。 ・水と緑を守る活動に参加し、協力をします。 ・豊かな水と緑の恵みを体感し、自ら情報発信します。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	水循環・生態系等の保全
	基本事業②	豊かな自然の活用の推進
	基本事業③	
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	15　(15)	15　(15)	16　(16)	16　(16)	16　(16)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	6　(6)	6　(6)	7　(7)	7　(7)	7　(7)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	9　(9)	9　(9)	9　(9)	9　(9)	9　(9)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費　（事務事業の事業費合計）	千円	33,138	24,572	26,618	20,269	32,953	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	7,531	7,553	14,151	5,349	6,768	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	25,607	17,019	12,467	14,920	26,185	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	29	31	35	36	37	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	4,220	4,130	5,490	5,100	5,500	
	E. 人件費　（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	16,555	16,008	21,718	20,930	23,392	
	F. トータルコスト　（B+E）	千円	49,693	40,580	48,336	41,199	56,345	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費　（定義式　：　B／人口）	円	819	616	678	525	867	
	同　上 H. 人件費　（定義式　：　E／人口）	円	409	401	553	542	615	
	同　上 I. トータルコスト　（定義式　：　F／人口）	円	1,228	1,017	1,231	1,067	1,483	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	7	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名		①水循環・生態系等の保全	
基本事業の目的(意図)		適正な里山・森林整備により、健全な水循環を保全するとともに、野生生物や生態系の保全を進め、生物多様性を確保します。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【水資源調査研究事業】 ・休耕田等を利用した地下水涵養事業を東蔵地内において令和6年度と同様の3.98haにて実施しました。 【水と緑の森づくり事業】(施策9①再掲) ・人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む。)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理並びに利用について、地域の合意形成が図られている森林を対象として地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。 【森林病害虫等防除事業】(再掲) ・魚津市の歴史的価値を有する天神山において、松林の保全活動(松13本への薬剤注入)を実施しました。 【自然保護関係事業】 ・池の尻自然環境保全地域の巡視を3回試みましたが、林道の崩落により危険なため、池尻の池の巡視は行えませんでした。 【生物多様性地域戦略推進事業】 ・図書館で関連図書コーナーを設けたブックフェアを開催するとともに、パネル展示を実施し、市民等に生物多様性について、周知を行いました。また、小菅沼にて「ヤギの杜　里山体験会」(緑の学び舎)を1回開催し、3名が参加しました。 【水族館博物館事業】(再掲) ・魚津市を中心に富山県内の生物(魚類・両生類・爬虫類・無脊椎動物等)の調査を行いました。 ・市民等が参加するうおづ水辺の調査隊活動を3回実施しました。 【埋没林博物館調査研究事業】(再掲) ・魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。 ・南又谷のマイカー自粛解除に伴う自然環境モニタリング調査を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
地下水涵養事業実施面積	ha	1.93	1.93	2.0	2.3	2.5	2.8	3	5
				3.96	3.98	3.98	3.98	3.98	
森林整備面積	ha	141.3	142.3	144.1	145.5	146.9	148.3	149	156
				157.3	137.5	131.4	121.7	171.8	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など)　-:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		ジオパーク構想事業	605,000	605,000	0	0	-	企画政策課
2	一般会計	○	片貝川流域水循環遺産活用事業	300,000	299,200	800	0	A	企画政策課
3	一般会計	○	水資源調査研究事業	463,810	460,875	2,935	0	B	生活環境課
4	一般会計		環境基本計画推進事業	173,000	90,000	83,000	0	-	生活環境課
5	一般会計	○	自然保護関係事業	27,000	21,796	5,204	0	B	生活環境課
6	一般会計	○	生物多様性地域戦略推進事業	195,000	55,509	139,491	0	B	生活環境課
7	一般会計	○	水と緑の森づくり事業	5,876,000	5,236,000	640,000	0	B	農林水産課
8	一般会計		森林病害虫等防除事業(施策7②再掲)	(391,000)	(372,000)	(19,000)	(0)	-	農林水産課
9	水族館事業特別会計	○	水族館博物館事業(施策14③再掲)	(2,710,000)	(2,390,816)	(319,184)	(0)	A	水族博物館
10	一般会計	○	埋没林博物館調査研究事業(施策14③再掲)	(659,000)	(631,109)	(27,891)	(0)	A	埋没林博物館
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合　計				7,639,810	6,768,380	871,430	0		

基本事業概要シート②

施策No.	7	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名		②豊かな自然の活用の推進	
基本事業の目的(意図)		自然環境の大切さを学び、その価値を認め、豊かな環境の恵みを活用するとともに、市民等が協働して保全活動を行う仕組みや体制づくりを推進します。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【環境保全啓発事業】(施策8②再掲) ・環境フェスティバル(〇〇魚津と同時開催)を10/18(土)・19(日)の2日間開催しました。企業や団体の環境保全に係る様々な取組を紹介し、環境保全に対する意識の啓発に努めました。 【県立・県定公園施設維持管理事業】 ・僧ヶ岳県立自然公園内の林業施設、松倉城跡県定公園(入城門広場や升方緑地施設など)、片貝県定公園(バイオトイレなど)等に関する維持管理を実施しました。また、僧ヶ岳県立自然公園内の道路舗装整備を行いました。 【里山林オーナー事業】 ・里山(約42,000㎡)を市で借り入れ、約1,000～3,000㎡の区画に小分けにし、森林浴などの自然とのふれあいを希望する人に貸し出しました。令和7年度は12区画(前年比2区画減)を貸し出しました。 【魚津の水循環事業】 ・「魚津の水循環」の理解を深めるため、市民ガイドと共に、一般市民を対象とした「水の学び舎」ツアーを7回開催し、88名が参加しました。 ・うおづのうまい水を更にPRするため、県外のアンテナショップや飲食店(魚津市出身者経営)等での販路拡大に努めました。併せて、市内開催イベント等でうおづのうまい水を配布し魚津の水循環のPRに努めました。 【ジオパーク普及事業】 ・魚津埋没林博物館では、ジオパーク普及講座を4件実施し、市内の生物や地質等の自然環境を学ぶ機会を提供しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
片貝山ノ守キャンプ場利用者数	人	10,100	6,507	10,300	10,400	10,500	10,600	10,700	11,200
				7,183	11,151	9,109	7,945	7,440	
「水の学び舎」「緑の学び舎」参加者数	人	155	51	160	160	165	165	170	180
				46	69	38	95	91	

基本事業を構成する事務事業の実績(〇:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	〇	環境保全啓発事業	628,000	595,979	32,021	0	B	生活環境課
2	一般会計	〇	魚津の水循環事業	1,986,000	1,801,552	184,448	0	B	生活環境課
3	一般会計		東山円筒分水槽周辺整備事業	553,190	553,190	0	0	-	生活環境課
4	一般会計	〇	県立・県定公園施設維持管理事業	6,936,000	5,278,965	1,657,035	0	B	農林水産課
5	一般会計	〇	片貝山ノ守キャンプ場管理運営費	17,191,000	15,535,961	1,655,039	0	B	農林水産課
6	一般会計		森林病害虫等防除事業	391,000	372,000	19,000	0	-	農林水産課
7	予算なし		里山林オーナー事業	0	0	0	0	-	農林水産課
8	水道事業会計(収益的支出)		ボトルウォーター事業	1,800,000	1,797,369	2,631	0	-	上下水道課
9	一般会計		ジオパーク普及事業	298,000	250,287	47,713	0	-	埋没林博物館
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				29,783,190	26,185,303	3,597,887	0		

施策No.	7	施策名	水と緑の保全と活用

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①水循環・生態系等の保全】
◆休耕田等を利用した地下水涵養事業の実施面積は、令和3年度3.96haから、令和4年度3.98haと拡大し、令和7度も同じ面積となっています。
◆森林整備面積は、令和4年度にウッドショックの関係で137.5haと減少に転じ、令和5年度は人工林の長期伐採制度（伐期を50年→80年に移行）となり、131.4haと減少、令和6年度も121.7haに減少、令和7年度は、間伐面積、保育面積が増加し171.8haの整備を行い、目標を達成しました。

【②豊かな自然の活用の推進】
◆令和7年度における片貝山ノ守キャンプ場利用者数は7,440人と前年度より減少しましたが、水の学び舎ツアー等の参加者は91人と横ばいです。
◆うおづのうまい水のペットボトルを県外のアンテナショップや飲食店（魚津市出身者経営）等での販路を拡大し、魚津の水循環遺産をPRしました。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①水循環・生態系等の保全】
＜水資源調査研究事業＞
◆休耕田等を利用した地下水涵養事業については、魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との共同により、東蔵地内において農閑期（10月～3月）の水張りを3.98haにて実施した結果、地下水保全につながりました。
＜水と緑の森づくり事業、森林病害虫等防除事業（再掲）＞
◆市内10地区、2.65haの里山について整備を行い、野生動物との棲み分けや水源涵養・山地災害防止等に貢献しました。また、天神山の松13本に対し、松くい虫防除の薬剤樹幹注入を行うことにより、周囲への被害木の拡大が減少しました。
＜埋没林博物館調査研究事業＞（再掲）
◆魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。
＜水族館博物館事業＞
◆展示や普及活動の基礎となる生物調査を継続的に行いました。

【②豊かな自然の活用の推進】
＜環境保全啓発事業＞
◆環境フェスティバル（〇〇魚津と同時開催）を10/18（土）～19（日）の2日間開催し、企業や団体の環境保全に係る取組を紹介することで、環境保全に対する意識を啓発することができました。
＜県立・県定公園施設維持管理事業＞
◆レンタサイクルの貸出等により、車両の乗り入れの抑制に努めたほか、片貝山ノ守キャンプ場を適切に管理し、豊かな自然とのふれあいや観察等の機会の提供に努め、7,945人の利用がありました。また、僧ヶ岳登山道の整備を行いました。
＜魚津の水循環事業＞
◆「水の学び舎ツアー」等を8回開催し、延べ91人が参加しました。参加者は、魚津の水循環を知り、理解を深めることができました。
・「魚津のうまい水」の販路を拡大することにより、魚津の水循環の魅力を県内外のより多くの方に発信することができました。
・沌滝の遊歩道を整備し、案内看板を更新することで、沌滝を訪れた方が安全かつ快適に散策することができました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①水循環・生態系等の保全】
◆市民、事業所等への水の利用や地下水の保全等の啓発に努めるとともに、水の学び舎事業を引き続き実施していきます。
◆自然の中での遊びや様々な体験活動を通じて、子どもたちの自然環境への保全意識の醸成や利用促進を図ります。
◆カシノナガキクイムシによる被害の報告はありませんが、多くの枯損木が残存しており、景観を損ねたり林道の通行の支障になっています。また、手入れ不足となっている里山が多く、野生鳥獣による農作物被害の一因となっていることから、引き続き「水と緑の森づくり税」等を活用した事業を推進していきます。
◆魚津市を中心に富山県内の生物調査（魚類・両生類・爬虫類・無脊椎動物等）の調査・研究活動を積極的に進め、結果を水族館の展示や普及活動に反映し、市民や来館者等に情報提供します。
◆富山県池の尻自然環境保全地域（ミズバショウ純群落）の巡視管理を行うにあたり、林道が崩土・倒木等により車両通行が困難な状況にあります。今後の巡視管理について検討していきます。
◆南又谷のマイカー自粛解除による自然環境への影響についてモニタリングを継続し、変化の有無や状況の把握に努めます。

【②豊かな自然の活用の推進】
◆環境フェスティバルを継続して実施し、環境保全の啓発・意識の高揚を図っていきます。
◆今後も継続的に、県立自然公園や県定公園などの整備・保全や景観・美観の保全に努めていきます。
◆本市の自然と歴史の関わりを明らかにした魚津市史（自然編）を活用し普及講座等を開催することで、市民の地域に対する愛着や理解を深め市民自ら行うまちづくりに役立てます。
◆魚津の水循環で育まれたおいしいミネラルウォーター「魚津のうまい水」を全国に発信し、魚津の水循環遺産をPRします。